

# 一体型街頭防犯カメラ

## KB-GR5W705Z1

### 取扱説明書 - 設置編 -



#### お客様へ

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

## 改訂履歴

| 日付         | Ver | 改訂内容             |
|------------|-----|------------------|
| 2026.05.25 | 1.0 | 初版とする            |
| 2026.06.08 | 2.0 | p12 本体内部に接点出力を追記 |

## 限定保証

(株)ケービデバイスはKB-GR5W705Z1(以下、本製品)が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

したがって、(株)ケービデバイスは当社へ返送していただいたもので、当社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後1年間かつ日本国内で使用される本製品についてのみ有効なものとします。

## 免責事項

(株)ケービデバイスは市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証いたしません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。お客様は本製品の使用、ならびに本製品を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。

この保証は、最初の購入者であるお客様(1 ユーザー)に対して適用され、お客様が本製品を転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下にあげる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

- ① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により本製品に不具合が発生した場合。
- ② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用その他の異常な条件下での使用により不具合が発生した場合。
- ③ お客様が本製品に手を加えて改造、修理した場合。
- ④ ユーザーシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害等について。

## 個人情報について

本製品は個人情報となる映像データを記録するため、下記に注意してください。

- ① 個人を特定することができる映像データは「個人情報」に該当します。
- ② 「個人情報」となる映像データは法律に従って適正に取り扱ってください。
- ③ 機器を譲渡または廃棄する場合、記録されたデータから「個人情報」が漏洩しないよう、データをすべて削除するなどして取扱に十分に注意してください。

# 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 安全にご使用いただくために .....             | 5  |
| 使用上のご注意 .....                   | 8  |
| <b>製品概要</b> .....               | 9  |
| <b>取扱説明書について</b> .....          | 9  |
| <b>推奨 PC のスペック</b> .....        | 9  |
| <b>同梱品</b> .....                | 10 |
| <b>各部の名称</b> .....              | 11 |
| <b>設置方法</b> .....               | 13 |
| ポール/電信柱への取り付け方法 .....           | 13 |
| 壁面への取り付け方法 .....                | 17 |
| 電源の配線方法 .....                   | 19 |
| 本製品の起動方法 .....                  | 21 |
| カバーの開閉方法 .....                  | 22 |
| 電源の切り方 .....                    | 22 |
| GPS アンテナについて .....              | 23 |
| LAN ケーブルの接続 .....               | 23 |
| サブストレージ (MicroSD カード) の使用 ..... | 24 |
| <b>状態表示 LED の動作パターン</b> .....   | 25 |
| <b>カメラの向き調整</b> .....           | 26 |
| <b>本製品の仕様</b> .....             | 28 |
| <b>外形寸法図</b> .....              | 31 |
| <b>KB-GR5W705Z1</b> .....       | 31 |

## 安全にご使用いただくために

- ・ KB-GR5W705Z1(以下、本製品)をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本書を十分理解せずに本製品 をご使用にならないでください。
- ・ 本製品の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。

### 【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

| 注意記号   | 禁止記号   | 指示記号  |
|--|--|---|
|  |  |  |
| 一般注意   | 一般禁止 接触禁止 分解禁止   | 一般指示 電源を抜く アース接続  |



## 警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

### ● 水にぬらさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所(温度、湿度変化の激しい場所)や水の入る場所に設置しないでください。

### ● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。  
火災および感電の恐れがあります。

### ● アースを接続する



電源コードは、AC100V/AC240V(50/60Hz)のアース付きコンセントのみにつないでください。  
アースなし電源コンセントにつないだ場合、火災および感電の恐れがあります。

### ● 分解、改造をしない



本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。  
メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

### ● 液体や金属片を上に乗かない、挿入しない



本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。  
本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

### ● 電源コードについて



電源コードが損傷すると火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- ・ 電源コードの上に重いものを置かないでください。
- ・ 切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱するなどをしないでください。

### ● 異常が発生したとき



以下の場合は直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- ・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

### ● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本体や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。  
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



## 注意

正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

### ● ぬれた手で触れない



濡れた手で本体および電源コードに触れないでください。

感電の恐れがあります。

### ● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。

通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

### ● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。

本製品からの過電流による感電の恐れがあります。

### ● 製品に異物がついたとき



本製品に異物がついた際、異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。塗装が剥がれ、錆発生の原因となります。

### ● 使用する場所に注意



以下の場所で使用または保管しないでください。

- ・ 温度が極端に低いか、高い場所
- ・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- ・ 埃っぽい場所
- ・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

### ● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

### ● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品の内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

### ● 法規に準拠した廃棄を



本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

## 使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようしてください。
- 本製品はビデオデータをSSDに録画する設計ですので、SSDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本製品は外部機器（無線LAN、警報機器等）と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本製品は水平位置で使用するように設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- SSDが故障した場合、弊社では録画したデータの復旧はできません。重要なデータはあらかじめバックアップをとってください。
- 本製品で録画された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることをお勧め致します。
- 本製品は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本体の破損につながります。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。あらかじめご了承ください。
- 次の部品は消耗品です。下記の寿命時間を目安に交換してください。ただし、この時間はあくまで目安であり部品の寿命時間を保証するものではありません。
  - ・ SSD : 約 3 年 (使用環境温度 25 °C)
  - ・ MicroSDカード(オプション) : 約 2 年 (使用環境温度 25 °C)
  - ・ 時計用ボタン電池 : 約 5 年 (使用環境温度25°C)
  - ・ 回転ファン : 約 5 年 (使用環境温度25°C)長期間使用の際はあらかじめ販売店にメンテナンスのご相談されることを推奨します。消耗部品の購入については、本製品ご購入時の販売店へお問合せください。
- 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。(ハードウェア、ソフトウェア、文書など)
- 本製品は、ローリングシャッター方式を搭載したカメラです。大きな画角で動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体が大きくゆがみ、実際とは大きく違う画像が出力される場合があります。
- インターネットへの接続について本機は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線 LAN 含む)に直接接続することができません。本機をインターネットに接続する場合は、必ず技術基準適合認定を受けたルータなどを経由し接続してください。

## 製品概要

本製品は、IP カメラと専用の記録サーバー(レコーダー)が一体となった、一体型街頭防犯カメラです。

クライアントソフトは、クライアント PC(以下、PC)と本製品の 1 対 1 接続専用のソフトです。

本製品の設定・ライブ・検索/再生などができます。

PC と本製品は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続ができます。

本製品に内蔵されている SSD を抜き取り、PC にて記録映像を再生することができます。

GPS を標準搭載し、自動的に時刻同期を行います。

## 取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、本書と取扱説明書 -操作・設定編- の 2 部構成になっています。

本書では、設置方法や撮影角度の調整方法、記録媒体の取り外し方法について説明しています。

本製品の操作や設定方法については、「取扱説明書 -操作・設定編-」をご覧ください。

製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

## 推奨 PC のスペック

本製品クライアントソフトは以下の性能以上の PC でご使用ください。

- CPU : Intel Core i5 第 12 世代
- メモリ : 8GB
- ディスプレイ解像度 : 1920 \* 1080
- 有線 LAN 機能 : 100/1000BASE RJ-45
- 無線 LAN 機能 : 2.4GHz - IEEE802.11 b/g/n
- 無線 LAN 機能 : 5GHz - IEEE802.11 a/ac/n W56 対応

本製品クライアントソフトは、以下の OS で動作可能です。

- Windows11 64bit

## 同梱品

以下のものが同梱されているかご確認ください。

|   |                     |
|---|---------------------|
|    | KB-GR5W705Z1 本体 1 台 |
|    | AC100V 用防水コネクタ 1 式  |
|    | カメラ調整用六角レンチ 1 本     |
|    | M8*20 ボルト 4 本       |
|    | M8 ナット 4 個          |
|  | ワッシャー 8 個           |
|  | スプリングワッシャー 4 個      |
|  | 鍵 1 本               |
|  | 設置上のご注意 1 枚         |

## 各部の名称

### 【 本製品下面 】



## 【 本体内部 】

### メイン基板

SSD の交換などを行う際には、メイン基板に接続されているケーブル類やスイッチに触れないようにご注意ください。ビデオロスやシステム初期化につながり正常運用できなくなる恐れがあります。

### 電源入線

電源ケーブルの接続については、p.19 をご覧ください。

### LAN ケーブル入線

有線 LAN で PC と接続する場合は、このケーブルグランドから入選しメイン基板の LAN 端子に接続してください。端子名称:RJ-45

### USB ドングル (オプション)

LTE による接続をする場合、SIM を搭載した USB ドングルをメイン基板に接続してください。

端子名称:  
USB Type-A



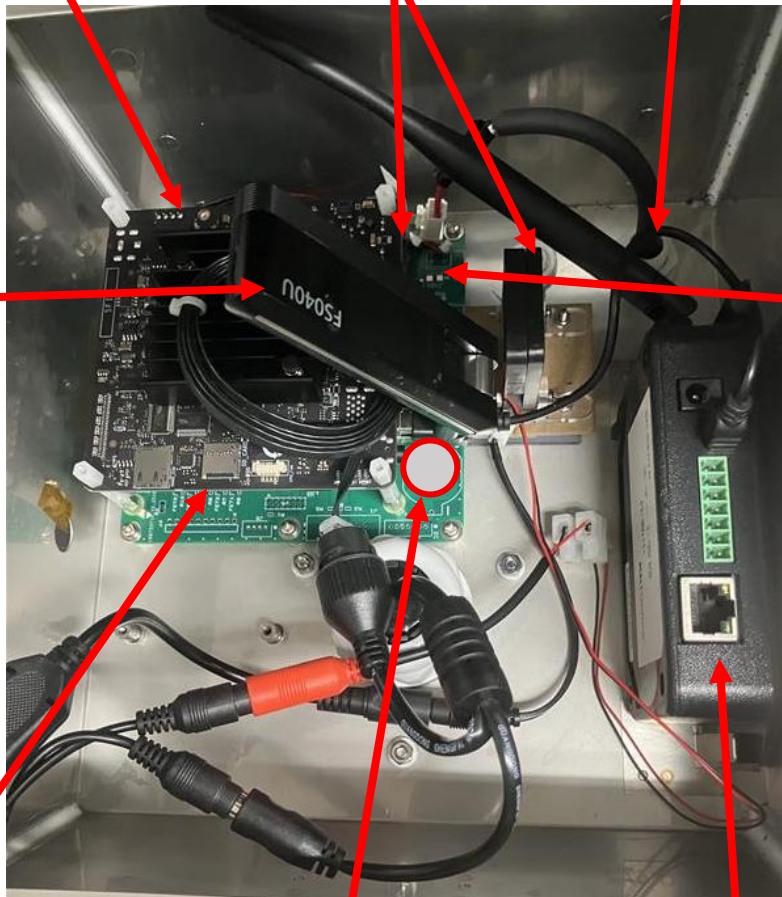
### 接点出力(無電圧)

警報機器等に接続し、機器のエラー発生時に接点出力することができます。

端子名称:

プッシュロック端子

使用方法は取扱説明書-操作・設定編-「3.11 エラー通知設定」を参照してください。



### MicroSD (オプション)

サブストレージによるミラーリングをする場合、専用の MicroSD カードを挿入してください。

### ボタン電池

(システム時計保持用)

消耗している場合、本製品のシステム時計が初期化状態となり正常に動作できなくなります。

交換メンテナンスを行ってください。

### 死活監視ユニット

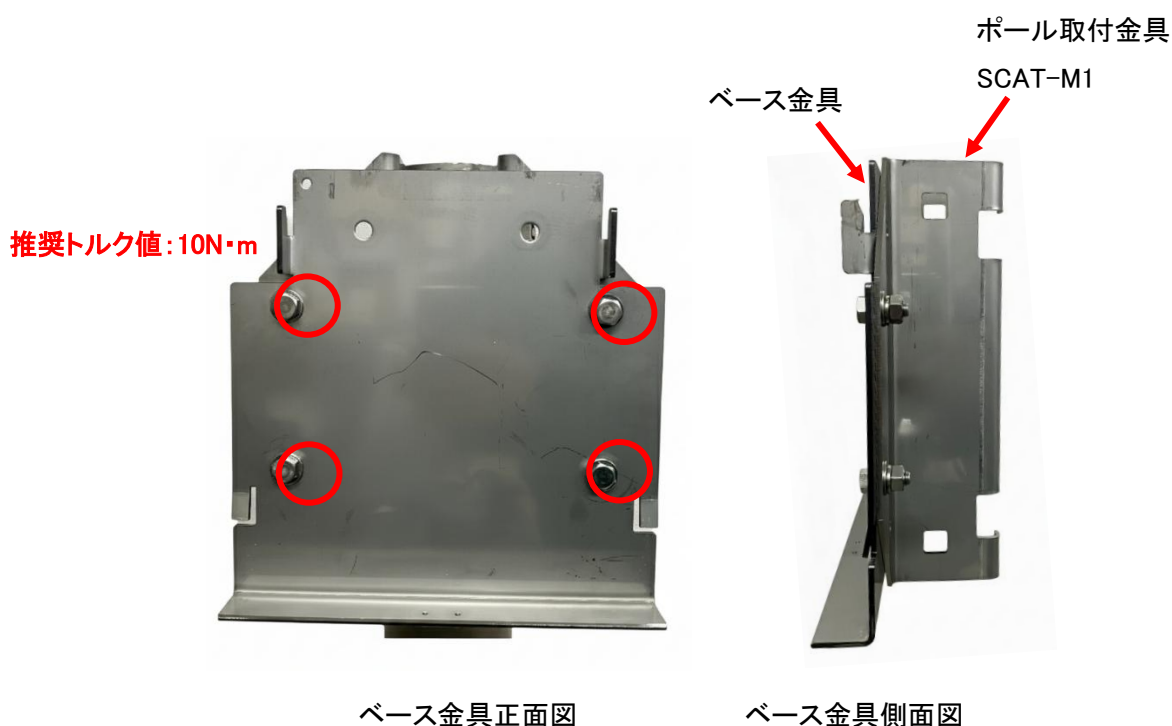
当社サービス「シンプルスマート管理」または「あんしん運用サポートプラン」ご契約の場合に内蔵されます。詳しくはお問合せください。

## 設置方法

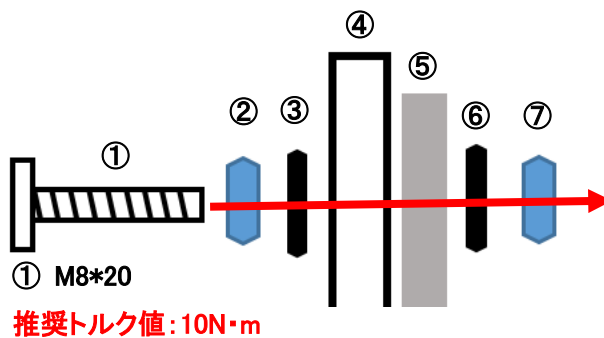
### ポール/電信柱への取り付け方法

ポール/電信柱への取り付けには、専用の金具や付属品・指定品をご使用ください。  
また、ボルトやバンドを締め付ける際は、焼付き防止のため推奨トルク値をお守りください。

1. 本製品のベース金具をポール取付金具(SCAT-M1)へ取り付けます。  
※ 取り付ける際は、対角順に付属のボルト(M8\*20)で固定してください。

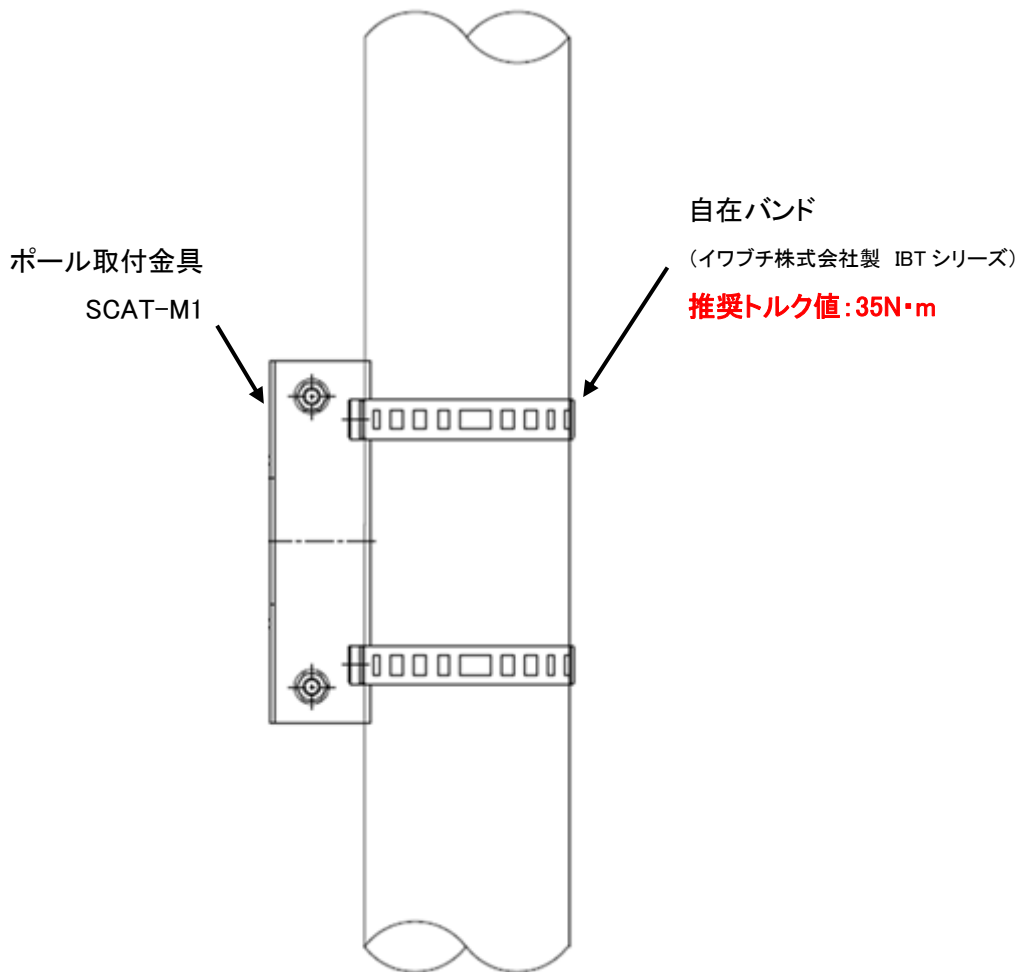


- ① ボルト(M8\*20) / ② スプリングワッシャー / ③ ワッシャー / ④ 本製品ベース金具  
⑤ ポール取付金具 / ⑥ ワッシャー / ⑦ ナット

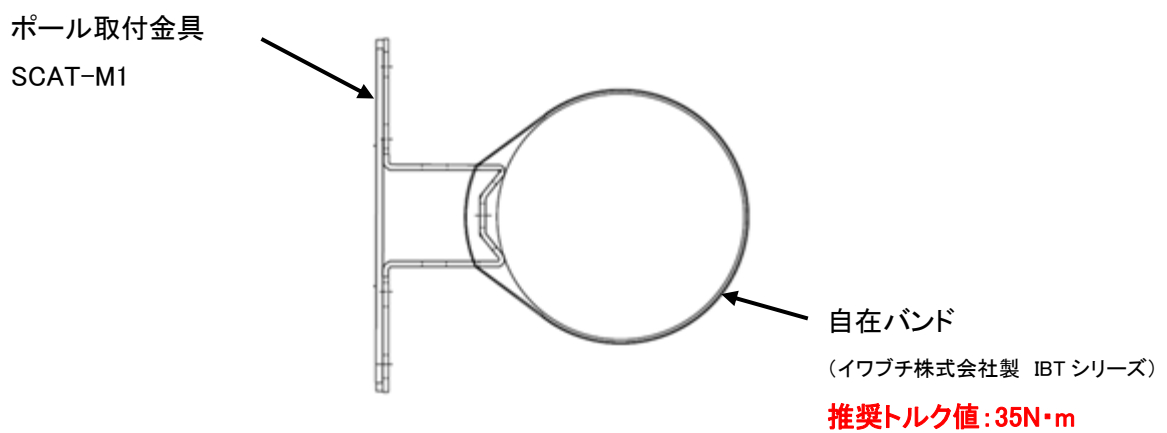


2. 自在バンド(イワブチ株式会社製 IBT シリーズ)をポール取付金具に通し、柱に巻きつけて固定します。

※各金具の推奨トルク値は、以下の設置図をご覧ください。

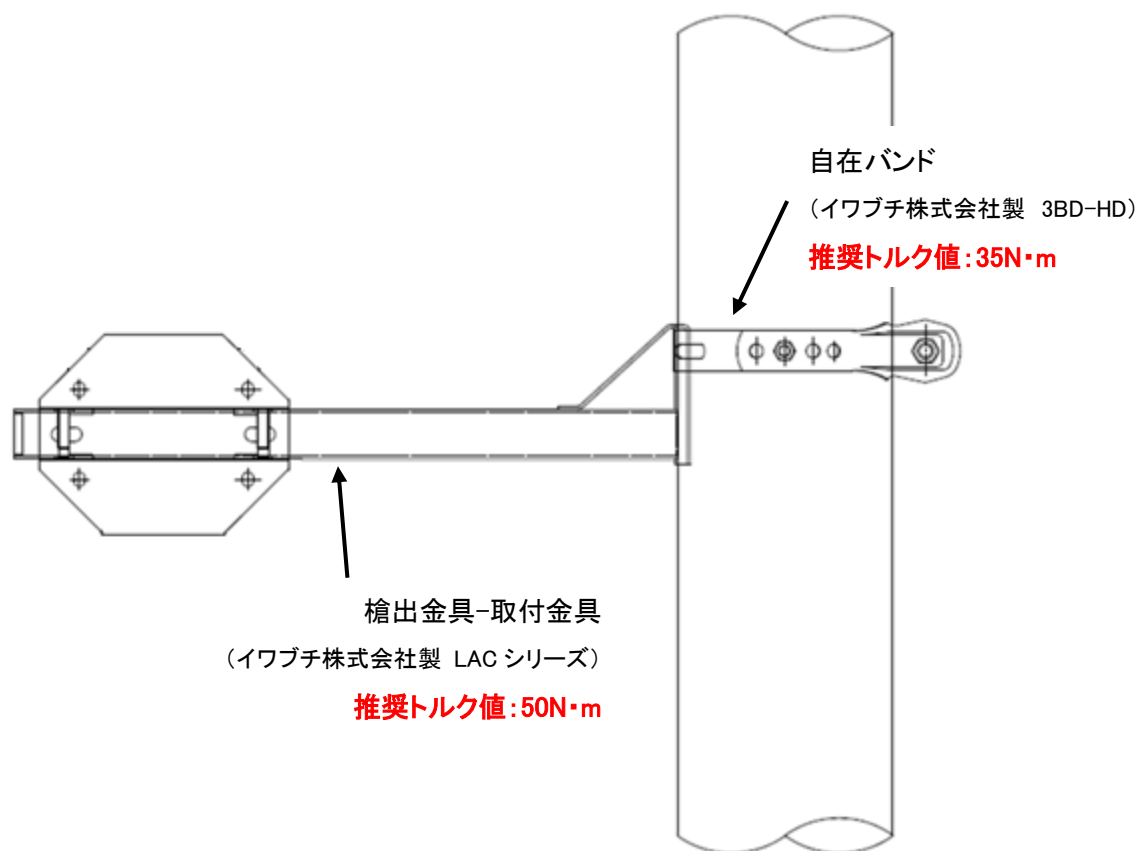


<< 設置図 側面 >>

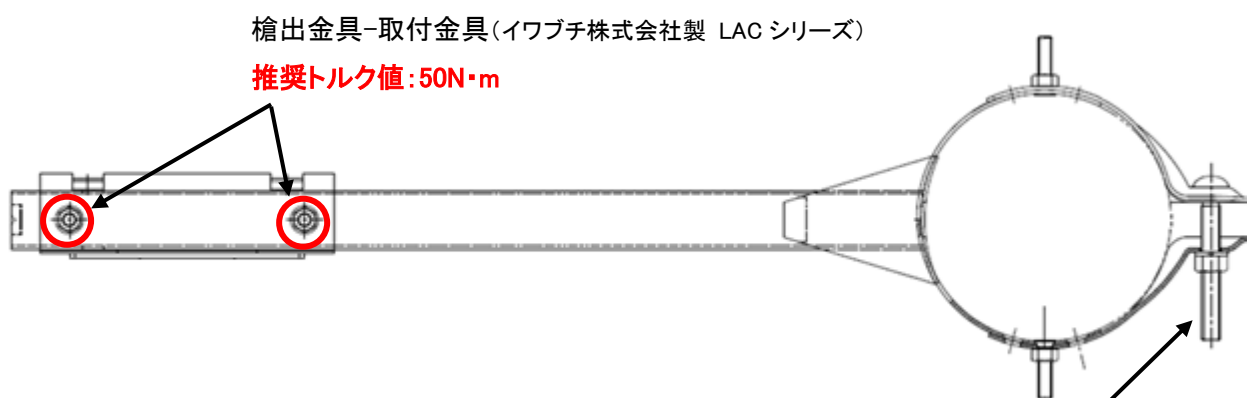


<< 設置図 下面 >>

※ ポール取付金具は、槍出金具(イワブチ株式会社製 LAC シリーズ)と組み合わせることが可能です。

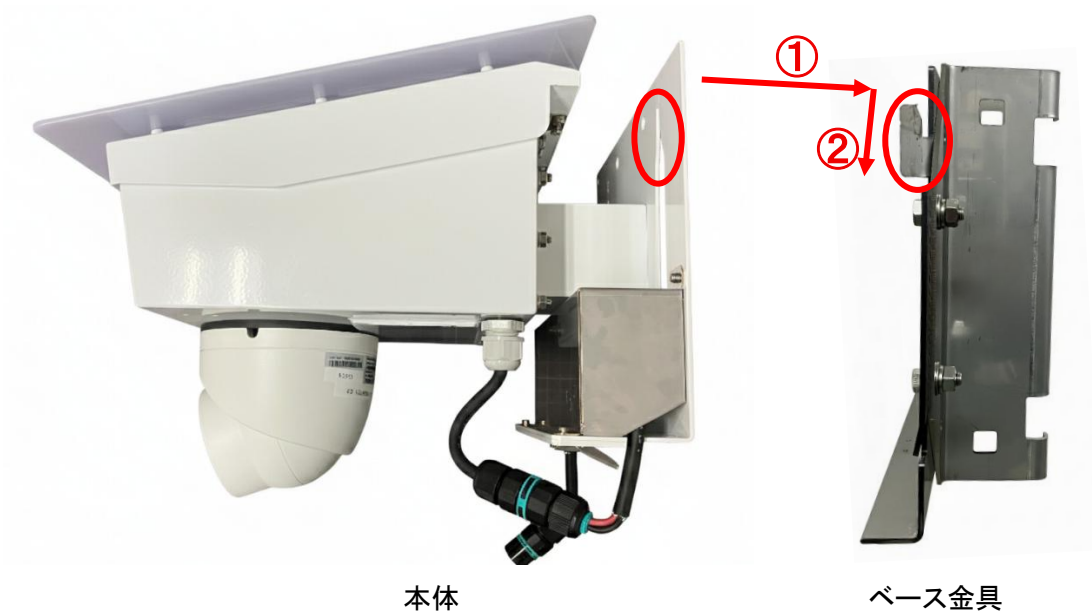


<< 設置図 側面 >>



<< 設置図 下面 >>

3. 本体をベース金具に取付けて固定します。  
本体の凹部分をベース金具の凸部分に入れ、下にスライドさせてください。  
※必ず「ガタン」と音がするまで凹凸がはまったことを確認してください。



4. 本体底面のパチン錠をベース金具に引っ掛け、付属の鍵で施錠してください。  
※取付強度を確保するため必ず施錠してください。



## 壁面への取り付け方法

壁面への取り付けには、専用の金具や付属品・指定品をご使用ください。

また、ボルトを締め付ける際は、焼付き防止のため推奨トルク値をお守りください。

### << 注意 >>

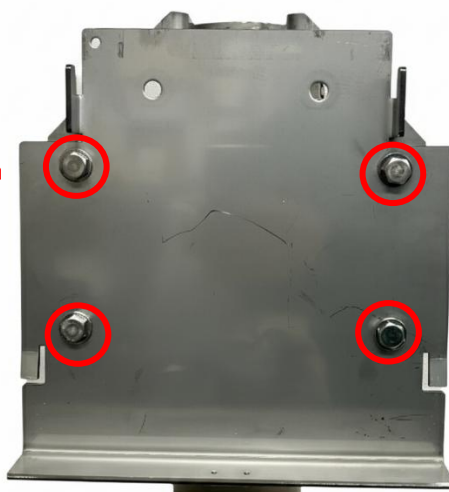
本製品を壁面に取り付ける際は、必ず、平らな面を選んでください。

また、取付箇所が本製品の重量に耐えられることを確認してください。

取付場所が不安定な場合、本製品が落下し、故障やケガに繋がる恐れがあります。

1. 以下の図を参考に、対角順にボルト(M8\*20)で本製品を固定します。  
※ 取付時には、アンカーなどで壁面を補強した上でしっかりと固定してください。  
※ また、アンカーは M8\*20 ボルトが納まるサイズのものを使用してください。
2. 本製品のベース金具をポール取付金具(SCAT-M1)へ取付けます。  
※ 取付の際は、対角順に付属のボルト(M8\*20)で固定してください。

推奨トルク値: 10N・m



ベース金具正面図

3. 本体をベース金具に取付けて固定します。  
本体の凹部分をベース金具の凸部分に入れ、下にスライドさせてください。  
※必ず「ガタン」と音がするまで凹凸がはまったことを確認してください。



4. 本体底面のパチン錠をベース金具に引っ掛け、付属の鍵で施錠してください。  
※取付強度を確保するため必ず施錠してください。



## 電源の配線方法

本体の取り付けを行う前に下記手順で電源線を取り付け、正常に起動することを確認してください。

本製品にブレーカーは内蔵されておりません。必ず、別途ブレーカーBOX等をご用意ください。

本製品のケーブルを切断すると改造となり、保証期間によらず保証対象外となりますのでご注意ください。

商用電源ケーブルは外径  $\phi 6.6\text{mm}\sim 12\text{mm}$  の屋外用ケーブル(燃線)を使用してください。

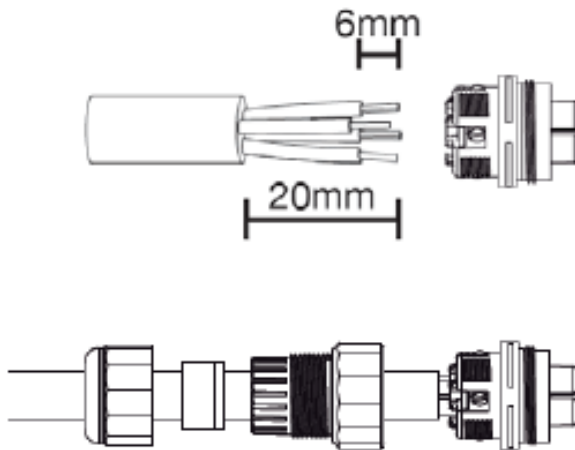
→ 推奨品番: SUNLIGHT3DX-0.75SQX2C-2 (太陽ケーブルテック製)

1. 商用電源ケーブルを以下のように付属の防水コネクタに配線し、端子ねじをマイナスドライバーで締付けます。

※ 燃線をしっかりと束ねて端子に挿入してください。

※ ドライバー先端幅は 3 mm が推奨です。

※ 端子ネジ部 締付トルク値: 最大  $0.8\text{N}\cdot\text{m}$



付属の専用コネクタ

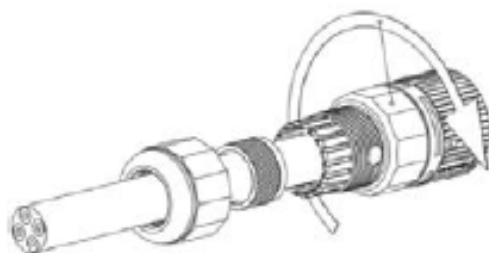


電源線の配置

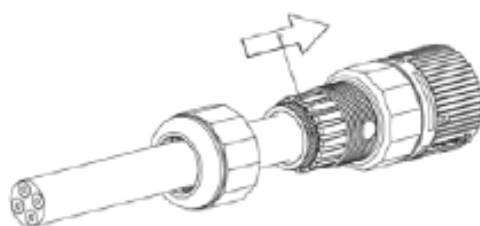


マイナスドライバーでの締付け(トルク値: 最大  $0.8\text{N}\cdot\text{m}$ )

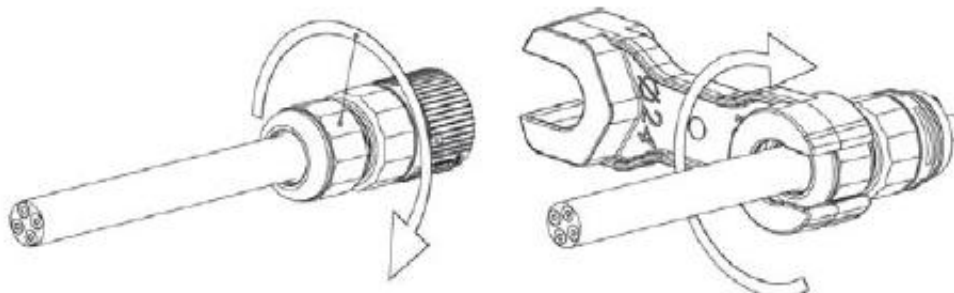
2. ソケットにケーブルグラウンドを締付けます。  
プライヤー等を使用し、しっかり締付けてください。



3. ケーブルグラウンドにゴムブッシュを入れます。  
ゴムブッシュを奥まで確実にに入れてください。



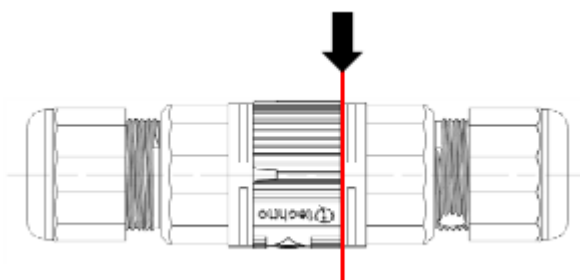
4. ケーブルグラウンドのキャップを締付けます。  
プライヤー等を使用し、ケーブルが動かなくなるまで締付けて下さい。



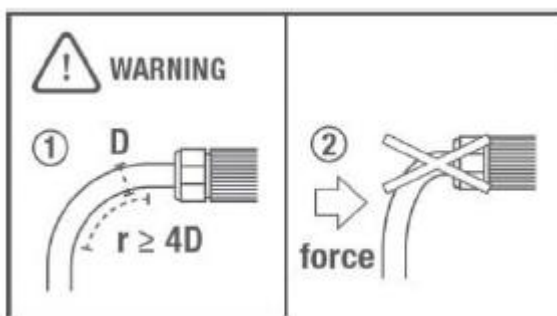
5. リングを締付けてください。
- 1) 仮止め・・・ソケット(商用電源側)とプラグ(製品側)を差し込み、軽い力でリングが止まるまで締付けてください。
  - 2) 本締め・・・1)で止まった位置から 90° 増し締めをしてください。



6. 以下の確認をしてください。



※リング締付け後、赤線部分に隙間が出来る場合がありますが、防水性能に影響はありません。



- ① 配線時、ケーブルの曲げ半径はケーブル直径の4倍以上にして下さい。
- ② コネクタに衝撃が加わらないように使用して下さい。

## 本製品の起動方法

本製品は、AC100～240V の電源配線のみで運用が可能です。

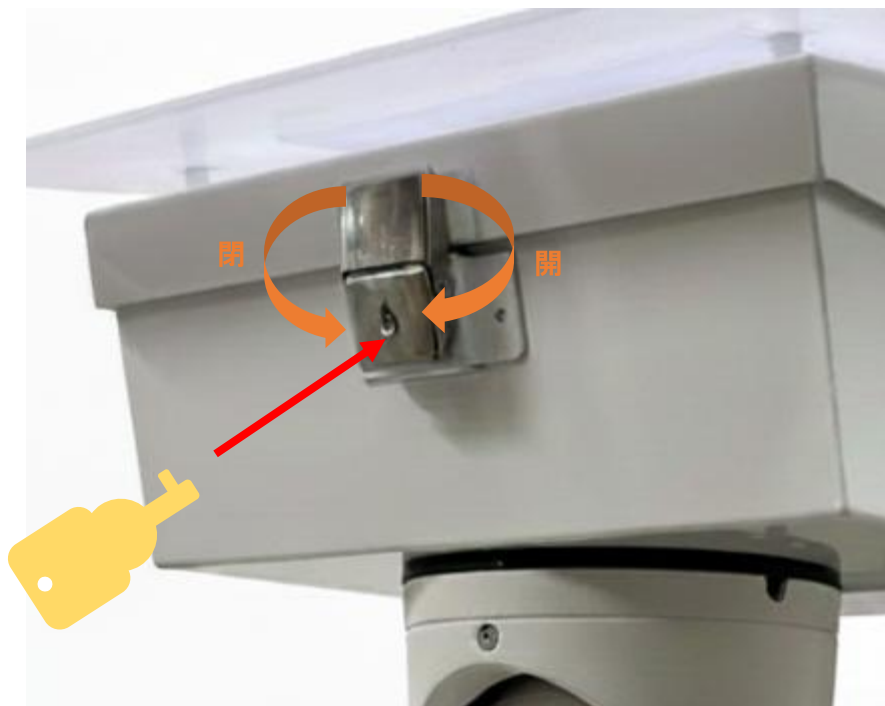
ブレーカーBOX をご用意の上、上記のように電源ケーブルを本製品に接続してください。

起動を開始すると、本製品の表示状態 LED ランプが点灯します。

起動時および動作時の LED の点灯パターンについては、「状態表示 LED の動作パターン(p22)」をご覧ください。

## カバーの開閉方法

本製品のカバー開閉には付属の鍵を使用してください。  
カバーのロックをかける場合は、左回りへ  
カバーのロックを外す場合は、右回りへ 鍵を回してください。



カバーを閉じた後は、必ずロックをしてカバーが開かないことを確認してください。  
ロックが不十分だった場合、カバーが開き、雨水などの影響で本製品が故障する恐れがあります。

## 電源の切り方

本製品をシャットダウンする際は、本製品に連結されているブレーカーを落としてください。

ブレーカーを落とすと、本製品の表示状態 LED ランプが赤・緑両方点灯します。  
シャットダウン時の LED の点灯パターンについては、「状態表示 LED の動作パターン(p24)」をご覧ください。

10 秒程度で LED が消灯します。  
LED ランプが消灯したら本製品のシャットダウンは完了です。

## GPS アンテナについて

本製品は GPS 時刻同期機能を有し、記録映像の時刻情報を正確に保つことができます。

GPS アンテナは本製品に内蔵されています。

人工衛星からの電波を受信するため、本製品の直上に電波を遮るもの(コンクリート屋根、高速道路の高架など)がない場所に設置してください。

## LAN ケーブルの接続

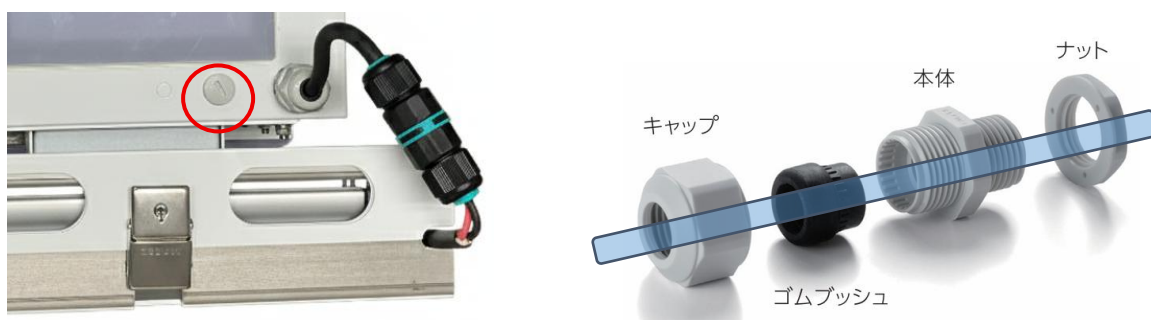
都心部など無線 LAN が混信する環境下においては、LAN ケーブルでの有線接続を利用してください。

LAN ケーブルの引込には別途ケーブルグランドをご用意ください。

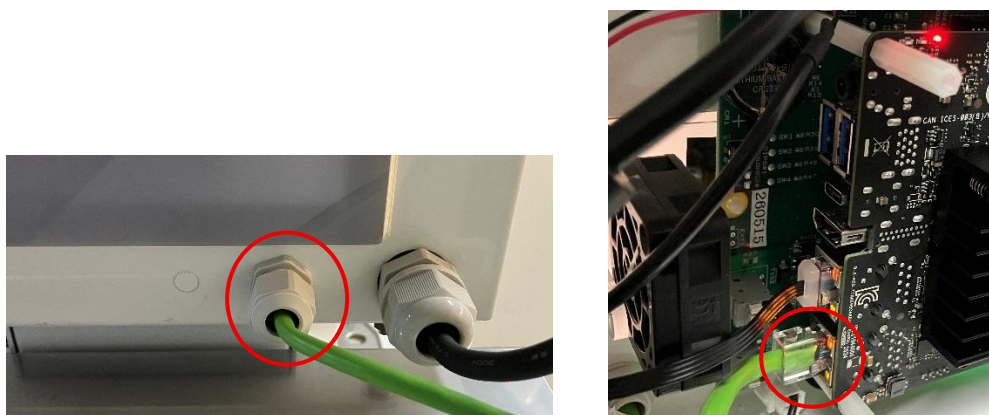
→ 推奨品番: AG12-6.5S (タカチ電機工業製)

LAN ケーブルは必ず屋外用のものを使用してください。

1. 本体下部のメクラキャップを取り外してください。
2. ケーブルグランドに LAN ケーブルを通してください。



3. 本体下部にケーブルグランドを締付けてください。
  4. RJ-45 端子を取付けて基板に接続してください。
- 推奨締付トルク: 1.5N・m



## サブストレージ（MicroSD カード）の使用

サブストレージ (MicroSD カード) を使用することで、以下の機能を使用することができます。

- ・ミラーリング メインストレージに異常が発生した際にも録画を停止せず継続が可能です。
- ・ストレージ取外しによる再生 MicroSD カードを取外し、録画データを PC で再生することができます。

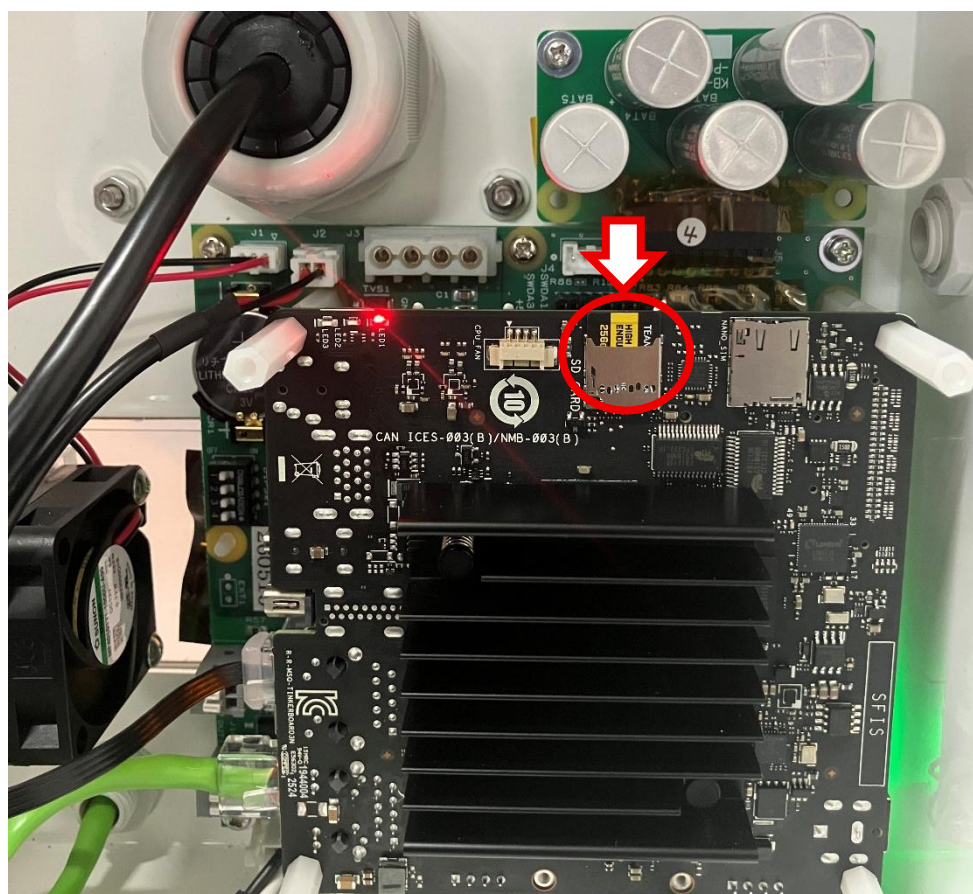
サブストレージは以下の品番の MicroSD カードのみをサポートします。(2026 年 5 月現在)

品番: KB-SD2N256B1 / KB-SD2N512B1

サブストレージの挿抜は必ず本機の電源を OFF にしてからおこなってください。

本機内部の下図のカードスロットに MicroSD カードを挿抜してください。

※録画データの再生方法は取扱説明書-操作・設定編-を参照してください。



## 状態表示 LED の動作パターン

本製品に搭載されている LED の表示パターンから、本製品の動作状況を確認することができます。  
以下の表を参考に、本製品の動作状況を確認してください。

| 動作  | 状態           | 色   | 点灯状態            |
|-----|--------------|-----|-----------------|
| 非通電 | 起動前          | -   | 消灯              |
| 通電後 | システム起動中      | 緑   | 点灯              |
|     | GPS 同期中      | 青   | 点灯              |
|     | LTE 接続中      | 紫   | 点灯              |
| 起動後 | 録画中(GPS 同期有) | 緑   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
|     | 録画中(GPS 同期無) | 青   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
|     | 録画中(LTE 接続)  | 紫   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
|     | システム時刻エラー    | 赤・緑 | 赤・緑が 1 秒ずつ交互に点灯 |
|     | メインストレージエラー  | 赤   | 点灯              |
|     | サブストレージエラー   | 赤   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
|     | カメラ ping エラー | 黄   | 点灯              |
|     | カメラ映像配信なし    | 黄   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
|     | 録画待機中        | 白   | 点灯              |
|     | クライアント接続中    | 白   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
| 電源断 | アンマウント中      | 橙   | 点灯              |
| 初期化 | 初期化中         | 橙   | 点滅(1 秒点灯/1 秒消灯) |
|     | 初期化完了        | 橙   | 点灯              |

## カメラの向き調整

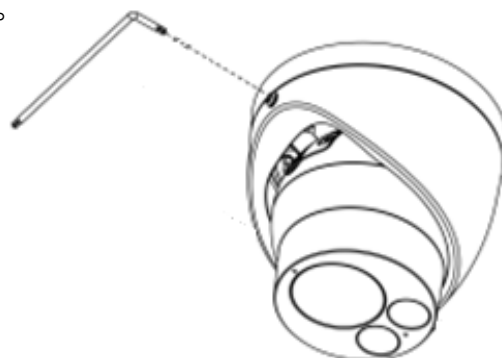
以下の手順で、本製品に接続されているカメラの向きを調整してください。

1. 付属のレンチでカメラの土台にある六角ねじを緩めます。

**注意！**

緩めすぎると六角ねじが抜けて落下します。

緩めすぎないようにご注意ください。

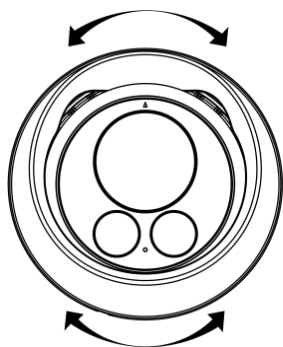


2. カメラの向き(パン・チルト・回転)を調整してください。

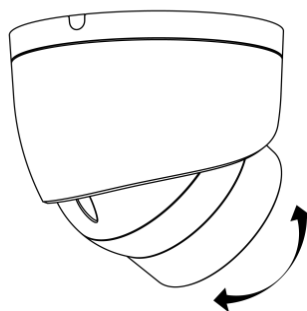
**注意！**

を緩めすぎると、土台から外れて落下します。

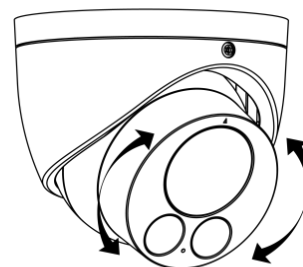
カメラの向きが動く程度まで緩め、緩めすぎないようにご注意ください。



パン : 0~360°



チルト : 0~75°



回転 : 0~360°

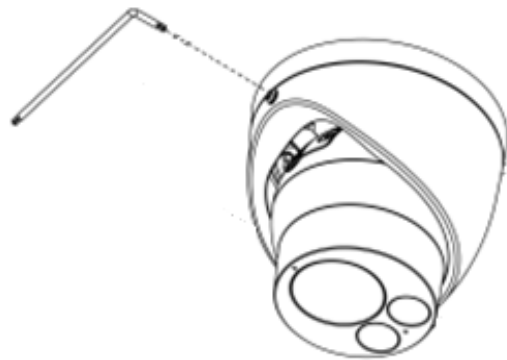
本カメラは、電動ズームレンズを搭載しており、自動的にフォーカス調整を行います。  
フォーカス調整中は、自動的に絞りが開放状態となります。

フォーカス調整は PC から接続しおこなうことができます。  
詳しくは「取扱説明書 -操作・設定編-」をご覧ください。

3. 付属のレンチで六角ねじを回して、カメラ向きを固定してください。

カメラが落下しないよう、六角ねじをしっかりと回して固定してください。

(締付トルク値: 0.5N・m)



※ カメラの表面が汚れて視認性が悪くなった場合は、やわらかい布などでレンズ表面を軽く拭いて清掃してください。

## 本製品の仕様

### カメラ部 仕様

|             |  |                      |
|-------------|--|----------------------|
| 撮像素子        | 1/2.8 型 CMOS センサー (SONY)   |                      |
| 解像度         | 2592x1944 (最大)、2048x1536、1920x1080、1280x960、1280x720、800x600、640x480、640x360、320x240(最小) |                      |
| 全画素数        | 2592 * 1944  |                      |
| ストリーム数      | 3  |                      |
| 映像圧縮方式      | H.264 (High Profile/Main Profile/Baseline Profile) / MJPEG                               |                      |
| フレームレート     | 1~30FPS  |                      |
| GOP         | 1~60   |                      |
| ビットレートタイプ   | CBR / CVBR / VBR   |                      |
| レンズ焦点距離     | 2.7-13.5mm (F1.4-2.8) 電動ズームレンズ (オートフォーカス機能付)   |                      |
| ALC         | ○  |                      |
| 撮像角度        | ワイド端   | 水平:約 104° / 垂直:約 74° |
|             | テレ端  | 水平:約 30° / 垂直:約 22°  |
| 赤外線<br>投光器  | 投光距離   | 約 30m                |
|             | 投光角度   | 約 100°               |
| 最低被写体照度     | カラー: 0.03lx (F1.4、工場出荷時設定) /<br>0.005lx (F1.4、AGC 最大、スローシャッター最大)<br>モノクロ: 0lx (赤外線投光時)   |                      |
| 電子シャッター     | オート、1~1/10,000 秒   |                      |
| True-WDR    | ○  |                      |
| デジタル WDR    | ○ (強/中/弱/OFF)  |                      |
| AGC         | ○  |                      |
| EV (露出値)    | ○ (-2~+2)  |                      |
| フリッカレス      | ○  |                      |
| デイ&ナイト      | ○ (自動/カラー/モノクロ)  |                      |
| スマート IR     | ○ (ON/OFF)   |                      |
| 可変 IR       | ○ (ON/OFF)   |                      |
| オートホワイトバランス | ○ (ATW/自動/マニュアル)   |                      |
| 逆光補正        | ○ (OFF / 上部 / 下部 / 中央 1/3 / 中央 1/6 / 左 / 右)  |                      |
| ノイズ除去       | 3D-DNR (0~100)   |                      |
| プライバシーマスク   | ○ (最大 16 箇所)   |                      |
| 画像反転        | ○ (フリップ/ミラー/フリップ&ミラー)  |                      |
| RBSS (予定)   | ○ 下記は認定高度機能  |                      |

|  |  |
|--|--|
|  | 5.2.1 最低被写体照度(高感度タイプ)、 5.2.2 0ルクス環境撮影機能<br>5.2.6 ダイナミックレンジ拡大(40dB)、 5.2.9 高画素(メガピクセル)<br>5.2.10 記録一体型屋外用 |
|--|--|

## レコーダー部 仕様

|                |   |
|----------------|---|
| OS             | Linux   |
| カメラ入力          | 1 系統(Ethernet)  |
| メインストレージ       | SSD(M.2) 標準 256GB(※1) / 拡張オプション対応:512GB   |
| ミラーリング         | ○(オプション) ※下記サブストレージを使用  |
| サブストレージ        | ・MicroSD(オプション) 256GB、512GB ※メインストレージと同容量<br>専用ストレージ(MicroSD)256GB: KB-SD2N256B1<br>専用ストレージ(MicroSD)512GB: KB-SD2N512B1 |
| 記録モード          | スケジュール記録(0~24 時間設定、曜日設定)  |
| 表示 LED         | 記録中、GPS 同期、エラー状態表示(本体・ストレージ・カメラ)  |
| 再生方法           | 無線(有線)LAN 接続による PC ビューワ上で再生<br>ストレージ取出しによる PC 上で再生(サブストレージ利用時のみ)<br>LTE 接続による PC ビューワ上で再生(オプション)                        |
| 無線インターフェース     | IEEE802.11a/b/g/n/ac(Wi-Fi 5)   |
| 無線 LAN 速度(理論値) | 最大 300Mbps  |
| 無線暗号化          | WPA2-PSK-AES  |
| 無線セキュリティ       | SSID ステルス、MAC アドレスフィルタリング、暗号化キー(WPA2-PSK)   |
| LTE 接続         | ○(オプション)  |
| データセキュリティ      | パスワード保護、記録データ暗号化(AES256bit)   |
| ネットワークセキュリティ   | SSH および Telnet 無効、IP アドレスによるアクセス制限  |
| 自動時刻同期         | ○(内蔵 GPS、時刻補正間隔: 毎秒)  |
| 無停電電源機能        | ○(自動シャットダウン/自動復帰)   |
| ファームウェア        | 専用アプリケーションによるアップデート   |
| イベントログ         | ○(30 日間)  |
| その他オプション       | シンプルスマート管理(機器死活監視 Sigfox 回線)<br>あんしん運用サポートプラン、遠隔接続用 SIM、統合管理ソフトウェア(VMS)   |
| 電源電圧           | AC100~240V、50Hz/60Hz  |
| 最大消費電力         | 60W   |
| 動作温度/湿度        | -20°C~50°C(起動温度は-10°C~50°C) / 10%~85%   |
| 外径寸法           | 361(D)×270(W)×284(H) mm   |
| 質量             | 約 8kg   |
| 材質             | ステンレス、アルミダイキャスト、ポリカーボネート  |
| 筐体施錠           | ○   |

|           |  |
|-----------|--|
| 防水防塵性能    | IP66   |
| 耐重塩害性能    | ○  |
| 耐風性能      | 風速 100m/s ※1   |
| アクセサリ(別売) | ポール取付金具： イワブチ株式会社製 SCAT-M1<br>槍出金具： イワブチ株式会社製 LAC シリーズ + SCAT-M1 |
| 原産国       | 日本   |

※1 工場出荷時設定で7日間以上の録画が可能

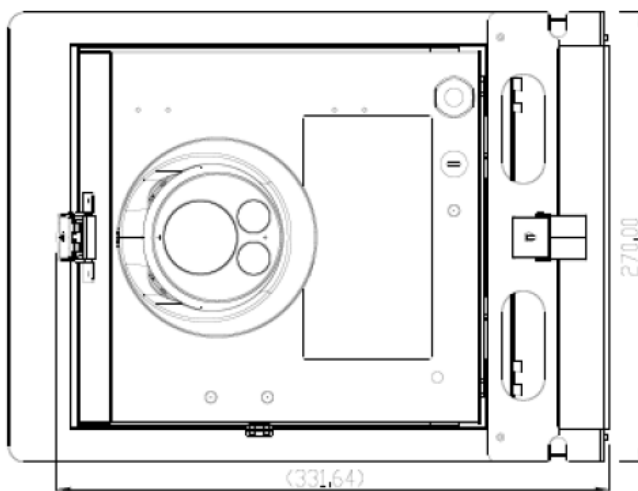
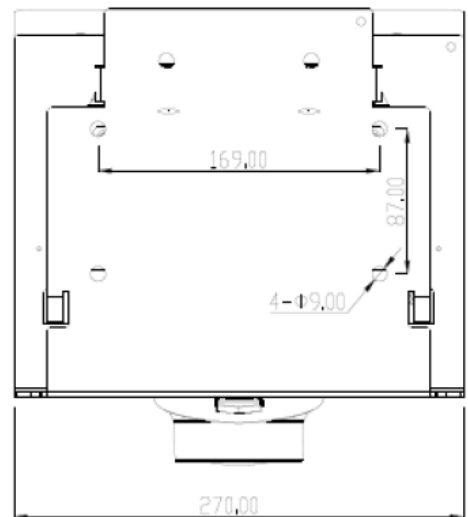
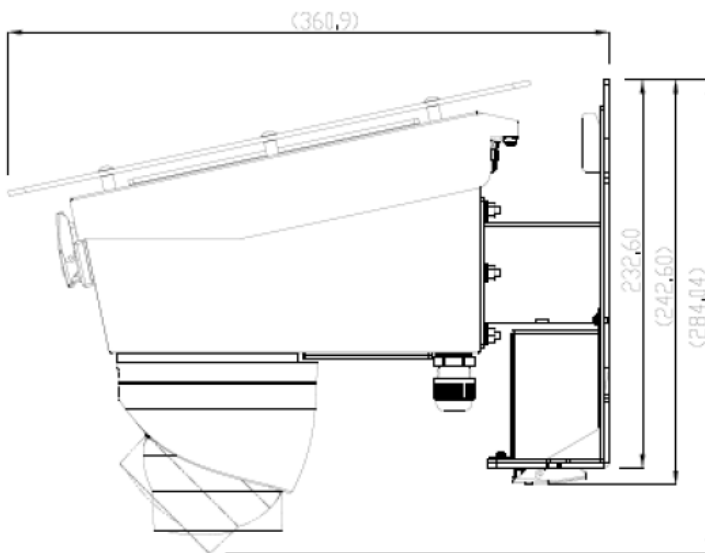
※2 算出した風圧加重で重心点にて引っ張り試験を行い合格しています

|                          |           |  |
|--------------------------|-----------|--|
| <b>推奨クライアント<br/>PC仕様</b> | 動作確認済み OS | Windows11 64bit  |
|                          | CPU       | Intel 第12世代 Core i5 以上   |
|                          | メモリ       | 8GB 以上   |
|                          | ディスプレイ解像度 | 1920 * 1080 以上   |
|                          | ネットワーク    | 有線 LAN : 100BASE-T / 1000BASE-T<br>無線 LAN : IEEE802.11a/b/g/n/ac (Wi-Fi 5) |

※仕様は改良の為、予告無く変更することがあります。

# 外形寸法図

## KB-GR5W705Z1



単位 : [mm]

## 保証書

|               |               |      |
|---------------|---------------|------|
| 品番            | KB-GR5W705Z1  | 販売店名 |
| シリアルナンバー(S/N) |               |      |
| お買い上げ年月日      |               |      |
| 保証期間          | 商品お買い上げ後 5 年間 |      |
| 会社名           |               |      |
| ご住所           |               |      |
| ご担当者          |               |      |
| 電話番号          |               |      |

※お願い: お買い上げ時に必ずご記入ください。本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

### <保証規定>

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理致します。  
販売会社もしくは弊社へ本ページを切り取ってお申し付けください。

### <保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1. 取扱説明書にない誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。  
また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 本書上記項目に必要な事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

### <補修用性能部品の保有期間>

1. 弊社では防犯カメラの補修用性能部品の、製造打切り後 7 年間保有しています。  
性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。  
ただし、修理不能の場合は後継機器によるユニット交換となる場合があります。

### <メンテナンスについて>

1. 防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。  
詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。